



ニュージーランド地震被災地支援

New Zealand Earthquake Support

募金総額 2,294,004円

皆さまのご協力に心より感謝申し上げます

ニュージーランド南島のクライストチャーチで2011年2月22日、マグニチュード6.3の地震が発生し、建物の東海などにより日本人を含む犠牲者が出ました。ニュージーランドは今、冬になり、家を失った人々の生活が課題となっています。

ニュージーランドのYMCAでは、震災直後には地域住民に暖かい飲み物などの提供を行いました。YMCA自体も建物などに深刻な影響を受けており、活動が再開できない状態でした。4月中旬より少しずつ活動を始め、ほとんどの会館で活動を行えるようになりました。しかし、6月13日には大きな余震があり、この影響によりやむなく8月まで再開を延期した会館もあります。このような困難な状況の中、被災者のためのプログラムを行っています。

お寄せいただきました募金はアジア・太平洋YMCA同盟を通じ、これらの活動のために用いられます(下記参照)。皆さまのあたたかいご支援に感謝申し上げますとともにご報告させていただきます。(募金期間2011年3月2日~4月30日)



被害の少なかったYMCAではチャイルドケア、子どもたちのプログラムなどの活動が行われている

今回の震災では富山YMCAの関係者の方が犠牲となりました。お悔やみ申し上げますとともにご遺族・知人の方々の上に神様の励ましとお慰めがあるようお祈り申し上げます。

募金の使途

*すでに行われている活動も含まれています

被災児童と家族のために

- ・子ども・若者とその家族のためのファミリーキャンプ実施。
- ・各地域でのレクリエーション活動
- ・各学校で子ども達とのワーク
- ・被災したYMCA会員への補助金 ・YMCAスタッフの支援

~ 総主事からのメッセージ ~ (抜粋)

クライストチャーチの人々は、今までと「同じ」にはもどれないのだという事実に対応し始めているようです。地震は小さな町を大きく変えてしまいました。市の半分は荒廃し、液状化や、損壊した道路、あてにならない水道や電気の供給と格闘しています。寒くなってきており、損壊した家に住む人々の生活が課題となっています。6/13の余震によってCity YMCAは残念ながら開館が遅れておりますが、皆様からの募金によりYMCAはほぼ通常通り業務を進めており、活動が行われています。

愛と祈りを送ってくださっている皆様に感謝申し上げます。